

バリアフリー化のめざすところ

< バリアフリー基本構想の目標 >

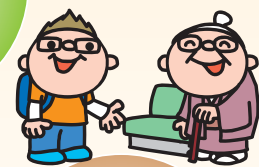
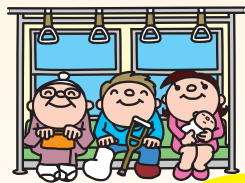
誰もが、安全・安心、快適で、豊かな心が育つ とよかわ

あらゆる人がバリアフリー化に取り組むことにより、安全・安心快適なまちを享受でき、その取り組みを通じて、人々の多彩な交流が生まれ、豊かな心が育まれることを目標とします。
5つの基本方針に基づいて、バリアフリー化に向けた計画を推進します。

①多様な人々が
安全・安心に
活動できる
まちづくりの推進

②快適な歩行空間の
形成による
多様な交流の促進

③心のバリアフリー
の推進



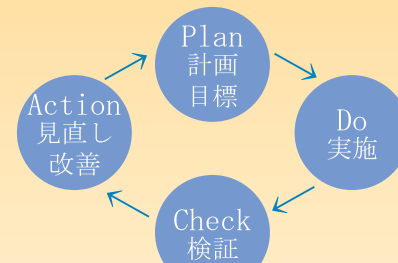
⑤継続的・効果的な
事業実施

④多様な関係者の
参画・連携による
取り組みの推進

バリアフリー化の推進に向けて

社会状況の変化やバリアフリーに関するニーズに対応するため、市民の皆さんからの意見を受ける窓口を設け、各種の調整を図る推進体制をつくっていきます。

また、高齢者や障害者等をはじめ市民の意見をもとに、必要に応じて基本構想の見直しを行い、スパイラルアップを図ります。



【PDCA サイクル】

基本構想策定にあたっての取り組み経緯

●豊川市バリアフリー基本構想策定協議会

基本構想の策定に係る関係者が協働で進めていくため、学識経験者をはじめ、高齢者や障害者等の団体の代表者等の市民、整備を実施していく可能性のある事業者及び市役所の関連部署からなる協議会を設立しました。協議会では関係者からの活発な意見交換が行われ、基本構想の策定にあたり検討しました。



策定協議会の様子

●市民意向の把握

高齢者や障害者等の団体の方にヒアリング調査を行い、バリアフリー化に係る問題点等について意見をうかがいました。

また、実際にまちを歩いて問題点を発見するタウンウォッチングを実施し、バリアフリー化に係る要望を詳細に把握し、意見の反映を行いました。



タウンウォッチングの様子

豊川市バリアフリー基本構想 概要版



平成23年3月
豊川市